

### 第3回福生市子ども・子育て審議会 会議録要旨

日時・場所	平成26年2月19日（水）午後2時～午後4時 福生市役所 第1棟4階庁議室
出席者	<委員>福生市子ども子育て審議会 委員13名（1名欠席） <事務局>子ども家庭部長、子ども育成課長、子ども育成課長補佐2名
会議次第	1 開会  2 会長挨拶  3 初出席委員の挨拶  4 議題 （1）アンケート調査の調査結果について （2）教育・保育の区域設定について （3）事業所用アンケート調査票（案）について （4）見込み量の算出の考え方について （5）その他  5 閉会
議事録（概要）	
事務局	1 開会（14：00）
会長	2 佐々会長挨拶 今年になって初めての会議となりますが、大雪の中ご苦労様でした。それぞれ大雪を解消するため、大変だったかと思います。お疲れがでてないか気にしていました。9月に方針を出すということがありますので、これから会を重ねていくごとに内容的なものをしっかりと積み上げていきながら意見をまとめていくことが求められていると思います。そういう意味では聞き慣れない、見慣れない資料の見方やその内容を説明していただきながら意見がまとまっていくような段階を踏まえたいと思いますのでよろしくお願いします。
事務局	3 初出席委員挨拶  4 議題 （1）アンケート調査の調査結果について 事務局より資料に基づき説明

会長	何かご意見ご質問はありますか。
委員	非常にわかりやすい分析でよかったです。先程口頭でお話されたように子育てが楽しいと思っている人の中でフルタイムで働いている人が、どれくらいとかいうことをおっしゃっていましたが、個人的にというかデータの内訳を我々委員が知りたいと思ったら教えていただけますか。
事務局	今回の会議の中であげていただきたいと思います。
会長	その他ありますか。また気付いたことがありましたら言っていただけたらと思います。では次の議題に入ります。
事務局	<b>(2) 教育・保育の区域設定について</b> 事務局より資料に基づき説明
会長	何かご意見ご質問はございますか。この地域を定めることによって、これから先の施設を作るか作らないか。就学前においては子ども達の行く場所として、待機児童対策として、施設を作る必要があるか、ないか。このようなことも関係してくると捉えられます。1行政区にすることによるメリットとして、デメリットがあるとしたら、いかがですか。まとめていただけたらもっとすっきりとわかるかと思います。
事務局	メリットは、福生市の狭い面積の中に認可保育園が13園ありまして、利用者の方が柔軟な形で利用する施設を選べる選択肢が広がると思います。また車では10分くらい、自転車ですと20分くらいで通えます。デメリットは、先程説明しましたが人口の減少が福生市は比較的率が高い。区域を細かく設定した場合に、その区域のニーズに合わせて施設を作りますと、5年後には必要なくなる可能性も出てきます。
会長	そうしますと、1行政区にした方が考え方としては柔軟にできるということと捉えてよろしいわけですね。就学前の保護者の方たちが希望するところ、それが幼稚園、保育園であれ、市の面積の中でなら移動が可能であるならば、細かく規定するよりは一つの行政区にしたほうがよろしいということになります。これから先希望者がフルタイムやパート労働だとか、そういうようなことが決まったときにそこに待機児がでてくる可能性があるということになります。そうした場合に細かく分けてしまうとそこの人達のニーズが多かったとしたら、そこに施設を建てねばならないという縛りが出てくるわけですね。待機児の関係で作るのはいいが、その後はどうかわからないということも出てきたりすることもありますよね。1行政区という提案として受け止めてよろしいでしょうか。その他にご質問がなければ提案どおりで1区域とすることでもよろしいでしょうか。ありがとうございました。次に、コーホート変化率について補足説明をお願いします。
支援事業者	コーホート変化率について、説明させていただきます。まずコーホートとは、同

	<p>年あるいは同期間に出生した集団のことを言い、コーホート変化率法とは、その集団の人口変化率が一定だと仮定して将来人口を推計する方法です。今回の教育・保育の量は、平成27年から31年までの5年間の量を算出することになります。そのため、5年間の1歳ごとの人口変化率の平均を基にして人口推計を実施しました。またこの方法は大規模開発の実施がされると使えません。直近5年間は大きな変動がないということで、今回コーホート変化率法を使っています。</p>
<p>会長</p>	<p>コーホート変化率について説明していただきました。福生市の直近の5年間に大規模開発はないということですのでよろしいわけですね。修正率については15から49歳、産むことができる生産年齢ということですので、それを掛け合わせた結果で2-3の資料がでていると。人口が少し減っていく見込みがあります。そういう意味でも流動的な要素があるということもあって1行政区域とすることが妥当であるということの提案でございました。次の議題に移ります。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>(3) 事業所用アンケート調査票(案)について</b> 事務局より資料に基づき説明</p>
<p>委員</p>	<p>データとしていただき、提出できるような形もとってもらえるとありがたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>調査を依頼します各幼稚園、保育園、学童クラブ等データでお送りさせていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>手書きでも大丈夫ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>手書きでも大丈夫です。</p>
<p>会長</p>	<p>お書きいただいた後面談というのは、面談する相手の数は72名なされるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>代表の方と考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>幼稚園なら園長先生、というようにこちら側が決めていくということですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>できましたらそうさせていただけたらと思っはいますが、園長先生に限らず、主任保育士さんにも書いていただいていますので主任保育士も考えられます。</p>
<p>会長</p>	<p>ヒアリングをする方たちが合計何名になりますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>32名くらいを予定しています</p>
<p>会長</p>	<p>記入していただいて書いたものは回収できますが、面談方式については何を聞くのでしょうか。</p>

事務局	<p>記述式だと書ききれないことや、私たちが本当に書いていただいている通りに理解ができるかということもありますので、皆さんと直接お話することによって、事業計画に支援施策を組み込んでいく基礎資料となるためには、面談して詳しく実情をお聞きしていきたいと思ひましてヒアリングも考えました。</p>
会長	<p>一つの園の中で三人とか二人とかにしてらっしゃいますけど、それぞれの方が個人的に責務や役割を担っているところからの中身だと思いますが、例えば園長先生にヒアリングをするといったときに幼稚園の場合だと3歳5歳と園長先生ですよね。そうすると園長先生に問いかけをする場合に3歳の方が何を書いたのか、5歳の方がどういうふうにしてたのかとか、そういうようなことについて園長先生に問いかけをすることになるのですよね。</p>
事務局	<p>仕事に従事している中で、来ていただいたり伺ったりしてヒアリングするというのは非常に厳しいのかなと考えております。このことから直接園長先生にまとめた形でもお話をうかがいながら確認していきたいと思ひます。</p>
会長	<p>ここには小学校は入らないのですね。</p>
事務局	<p>小学校は、学童クラブ従事者、学童クラブは小学生ですし、児童館も乳幼児、保護者も参りますが、小学生の利用者もかなりございます。小学生が学校では見せないような日頃の生活みたいなものも聞き取れるかなと思ひているところです。</p>
委員	<p>今いろんなお話を聞いて、僕自身はヒアリングで、紙にはこう書いたけど実はみたいな話ができるのはありがたいかなと思ひたので、書ききれなかった部分の補足が言葉でできたらいいかなと思ひるのでヒアリングそのものにはすごく賛成です。園としての考え方ということであれば担任ではなくて園長なりの話しを聞けば十分かと思ひますので、アンケートそのものを一つ、プラスヒアリングという形であれば十分かなと思ひます。</p>
会長	<p>ご質問や意見はございますか。</p>
委員	<p>「幼稚園保育園の教育保育と小学校教育が円滑に接続され」というところ、そこに苦勞しているのです、そういった部分は学童クラブの定例会の会議の中でまとめた形を出して、8クラブの指導員をヒアリングするというのは大変かと思ひますので、代表でヒアリングをさせていただいたほうがいいのかなと思ひます。</p>
事務局	<p>ヒアリングはそれぞれ園、学童クラブ、1施設1人はしたいなと考えています。保育園につきましては13園ございますので、こちらは園長先生の考え方をヒアリングさせていただきまして、保育士さんは6ヶ所ヒアリングしていきたいと思ひています。</p>

会長	子ども家庭支援センターには聞かないのですか。
事務局	今回はこの保育・幼稚園関係としています。
会長	子ども家庭支援センターに出される問題などがその後児童相談所に行くことで、どちらかといいますと子どもに関わる様々な諸問題に関しては集約して通報もあったりして大変なご苦勞もおありだと思います。子ども家庭支援センターの現状が資料としてこちら側にはないのでなんともいえませんが、資料があれば少し違うかも知れませんが、保育園、幼稚園どちらかに通っているということがあるので、その子ども達の中での様々な問題点というものがあるところにあるところがあるところがありますよね。
事務局	子ども家庭支援センターにつきましては現況を、次回のときに資料として出させていただきます。どのようなことをやっているのか、どこから相談があるのか、また、その数値を次回提出させていただきます。
会長	アンケート調査結果では一人親家庭も結構出ましたよね。その方たちの経済的な状況だとか、生活保護を受けてらっしゃる比率などについての資料をいただけたらと思います。
委員	学校はいろんなところと連携しなくてはいけないと思っています。特に教育委員会も教育相談機能を高めていこうとか、支援センターとの連携をしていこうということを今、話し合っているところです。そういう部門とうまい具合に連携できたらこれはもっともっと生きていくんだらうと、お話を聞きながら印象をもったところです。
会長	ここまでのご意見で、施設種別の6までのことはわかりましたが、7のその他のところに何が入るのかです。対象として幼小の接続、当然保育所や幼稚園と小学校との連携というものは大事なことです。小学校の方からの意見というものが重要となります。 小学校を加えることで何かご意見、ご質問はございますか。それでは小学校を入れてください。
事務局	それでは、その他で小学校を入れさせていただきます。 アンケートをとる方なのですが、担任からとるのか、学校の代表者からとるのかです。
委員	校長と具体的に指導に関わっている先生の思いもあります。アンケートに回答するにあたっては低学年の先生。
会長	1年生の担任にお願いすることよろしいですか。
委員	経験豊かな。それはそれぞれの学校にお任せすることよいと思います。

会長	それぞれの学校にお任せしながら1年生、とする。1年生ということで選別していただく場合には校長先生に委ねるということでもよろしいと思います。それで了解をとってもよろしいですか。よろしくお願いします。
事務局	(4) 見込み量の算出の考え方について 事務局より資料に基づき説明
会長	ご意見やご質問がありましたらお願いします。
委員	家庭累計と家族累計の意味の違いを教えてください。
事務局	正しいのは家庭累計で、国の手引きにも家族累計ではなく家庭累計という言葉を使っていますので、家族累計ではなく家庭累計という言葉が正しいということで、見ていただきたいと思います。
委員	3ページの「量の見込み算出方法」内のずっと右側、一番広い部分に記載されている家族累計と累計別児童数、全部がそうですね。
事務局	家庭累計ということです。
会長	修正していただければよいですね。家庭累計にしてください。その他ありますか。アンケートの結果から見ていくと細かい分け方ですが、それで出てくるということになります。アンケートのことですが、妊婦さん用のアンケート結果も出てきましたか。
事務局	現在実施しております、若干名ですがお答えしていただいています。
会長	妊婦用のアンケートは審議会に出してはいましたか。
事務局	一番最初にお出しして、1月末にはアンケート調査を実施いたしますことから、メールでお送りして最終的に委員の皆さんのご意見を集約して見直させていただきました。ご意見がありましたが審議会を開催いたします時間がございませんでしたので、メールによるやり取りで皆さんと調整して最終的なものを提出させていただきました。
会長	その経緯がどうであったか、確認させていただきました。妊婦用アンケートは何月から配付しましたか。
事務局	1月末日からです。
会長	ありがとうございます。では、議題5ということで、その他、お願いします。

事務局	<p>(5) その他</p> <p>次回の子ども・子育て審議会の日程についてご提案させていただきます。3月に実施したいと考えているところなのですが、3月は定例議会が開催されておりまして、日程調整が難しいことから、3月10日の月曜日、午後2時から開催させていただきたいと考えていますのでよろしくお願いたします。</p>
会長	<p>どのような内容になりますか。</p>
事務局	<p>アンケート調査の冊子ができるのですが、概要版と、量の見込み、先ほどこういった形で算出しますとお話をしたと思うのですが、それを案として提出させていただきたいと考えております。</p>
会長	<p>3月10日の月曜日、午後2時から、場所はまた後で、ということですね。それでよろしいでしょうか。その他何かございますか。</p>
委員	<p>平成27年度から子ども・子育ての施行ということで、幼稚園業界としては例えば認定こども園にするのか、それとも幼稚園でいくのか、施設型給付の幼稚園に変わるのかという選択を迫られているという話をしています。平成27年度からということは、実質もう今年の夏あたりから園児募集もごございます。来年度幼稚園、保育園に入れよう、と言っている人たちに対してのアナウンスはどのように考えていらっしゃるのか、あるいはスケジュールがどのようになっているのかを知りたいのですが。</p>
事務局	<p>計画につきましては、この会議の当初に会長から9月に答申を出すということでお話ございました。答申を8月末くらいに出していただければありがたいです。9月議会に新規条例を上程する予定でございます。その中には保育料、公定価格を定めまして、園児の募集を行いたいと思っておりますので、9月頃と思っております。</p>
委員	<p>そこにならないと動きようがないということが現状でしょうか。</p>
事務局	<p>保育料は幼稚園の事業者が決めていましたが、市が公定価格を定めます。これが施設型給付となり、その判断を各幼稚園で行っていただきます。</p>
委員	<p>その判断は条例が決まった後で、それぞれ各私立幼稚園がどうするかと話を決めて決めることになるのですね。</p>
事務局	<p>国の会議では4月末頃に公定価格を示す意向ですから、5月か6月頃になると思います。</p>
委員	<p>それは別途話し合いがあるのですか。</p>
事務局	<p>事業者の個人的な判断ですので。福生市としては4園の方と5月に話をしたい</p>

委員	<p>とっております。</p> <p>わかりました。</p>
会長	<p>国の方は3月くらいまでにやっといこうということがあって、認定こども園については少し遅れているという情報が出ています。それでも何とかまとめる方向で、急ぐことになるのか、ということですね。3月までの間で国の答申が大体出されていることが必要ですが、かなり厳しい条件ですね。そうすると、9月か8月末あたりで答申を出すとするれば、毎月開催をしなければならないということになりますか。</p>
事務局	<p>当初は年3回ぐらいと言っておりましたが、回数はかなり増えてくるのではと思います。</p>
会長	<p>動きが国から都、都から市へ、と流れています。市の方でも、次の情報を見ながらになると思います。では、ご審議いただいた件、提案のあったことに加えて、追加ということでもやっていただくことになりました。次回3月10日ということになりますので、万障繰り合わせてご出席いただけるようお願いしたいと思います。それでは、他にないようでしたら、本日の会議はすべて終了しました。</p>
会長	<p>5 閉会</p> <p>以上をもちまして、平成25年度、第3回子ども・子育て審議会は閉会したいと思います。ありがとうございました。</p>